

針 路

宮古市少年センター
宮古市 市民生活部 生活課
宮古市宮町一丁目1番30号
☎0193-62-2111（内線1820）

令和6年度「青少年を非行・被害から守る県民大会」

・令和6年7月24日（水） ・いわて県民情報センター7階 小田島組☆ほ～る

宮古市少年センターでは、少年委員4名と事務局2名、計6名が参加。
今年度の大会は、参加者が多く会場の席はほとんど埋まり、従来の県民大会に戻ってきたと感じた。
岩手県警察本部音楽隊の素晴らしい演奏にたくさんの拍手が送られ、感動を共有できた。

【大会趣旨】 毎年7月・8月に行う「青少年の非行・被害防止県民運動」の一環として、県内各地で
青少年育成に取り組む方々が一堂に会し、取り組みへの決意を新たにするとともに、青
少年への理解をさらに深め、非行・被害防止活動を推進する。

【大会内容】

- * アトラクション 非行・被害防止啓発演奏会（岩手県警察本部音楽隊）
- * 意見発表・作文発表
 - ・令和5年度「わたしの主張」岩手県大会最優秀賞受賞者
 - ・第73回「社会を明るくする運動」作文コンテスト岩手県推進委員会委員長賞受賞者
- * 講演 演題 子どもの心の声を聴くアドボカシー（リモート講演）
～子どもの「ために」から、子どもと「ともに」～
講師 川瀬 信一 氏（一般社団法人子どもの声からはじめよう代表理事）

今回の講演は、リモートで行われた。川瀬氏の現在の活動は、彼の生い立ちから現在に至るまで計り
知れない困難や努力により培われたものであろう。その経験を元に子どもたちとともにできることを考
え行動している。

アドボカシーという言葉は初めて耳にした。アドボカシーとは声を上げること。子どもアドボカシーは、
何らかの事情によって自分の思いや考えを他の人に伝えることができず、その結果、日常の社会生活にお
いて不利な立場に置かれている人たちを支援する活動をいう。子どもの心の声を聴き、心のドアを開くよ
う導く。肯定的パワー（権利意識、共感、連帯、信頼）をもって、外的抑圧（権力、抑圧、暴力、差別、
いじめ）と内的抑圧の両方を取り除いていくこと。現代の子どもたちに必要な支援であると感じた。

インターネット利用マナー啓発活動 を実施しました。

日 時：令和6年7月3日（水）17時15分から
実施場所：イーストピア宮古市民交流センター&宮古駅前

少年委員と専任少年委員、計5名でイーストピアみやこ市
民交流センター1・2階と駅前広場にて啓発活動を実施した。

交流センターには多くの高校生がいて、「こんにちは」
と声をかけると元気に「こんにちは」と返事が返ってきた。

「スマホの使い方に気をつけてね」「リーフレット、読ん
でね。」と啓発用品を生徒たちに配布すると、爽やかな笑顔
で「ハイ！」という素直な返答に、配布している少年委員も
自然に笑顔になり癒されていた。

予定配布数は100セットだったが、合計116セット配布
することができた。



「地域の子どもを育てる愛の一声運動」実施中（7月・8月）

この運動は、内閣府主唱の「青少年の非行・被害防止全国協調月間」に呼応し、地域の子どもたちの安全を守り、健やかに成長できるよう環境を整えるための取り組みです。

宮古市少年センターでは、朝の「おはようございます」から始まり、「こんにちは」「お帰りなさい」「こんばんは」など、日常生活の中で意識的に子どもたちに声かけをしています。

新型コロナウイルス飛沫感染防止を念頭に置き、対策をとりながら、皆さまも積極的に地域の子どもたちに声をかけましょう。



令和6年度 青少年の非行・被害防止対策リモート講演会・座談会の動画が子ども家庭庁HPに掲載されました！（参考）

テーマ：こどものインターネット利用について ～利活用に向けて～

○冒頭主催者挨拶

加藤鮎子内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画） <https://youtu.be/oDi7y4MJnEE>

○コーディネーターによる基調講演

江戸川大学メディアコミュニケーション学部 教授 情報教育研究所長 玉田 和恵 様

【講演 題】「こどものインターネット利用に向けて～利活用に向けて～」 <https://youtu.be/-SNBf19rdLA>

○講師による講演

・警察庁生活安全局人身安全・少年課長（収録時） 阿波 拓洋 様

【講演 題】「インターネット利用における子供の性被害等の防止について」 <https://youtu.be/lf-E6fIO-UY>

・江戸川区立一之江小学校 校長 伊藤 秀一 様

【講演 題】「こどものインターネット利用～利活用に向けて～ 学校における取組」

<https://youtu.be/Hfa8bxSLRio>

・一般社団法人セーファーインターネット協会 主席研究員 高橋 大洋 様

【講演 題】「利活用に向けて、こどものインターネット利用を保護者が支えられるようになるために必要なこと」

https://youtu.be/U_SZ4F7rkEo

・子どもたちのインターネット利用について考える研究会 事務局 佐川 英美 様

【講演 題】「自律利用を目指した、発達段階に応じた段階的利用の考え方について」

<https://youtu.be/XqAGC6FydZk>

○コーディネーター及び講師全員による座談会 <https://youtu.be/T1ZXXeyNMFs>

巡回日誌より

5月22日（水）5班
コース：磯鶏駅→宮古水産高校周辺→宮古商工高校周辺→R45を通り磯鶏駅

部活帰りの多数の生徒に会った。「気を付けて帰ってね」と声をかける、にこにこ笑顔を返してくれる生徒が多かった。

5月27日（月）6班
コース：さくら公園→のぞみ公園→板屋公園→かんぱな公園→ジョイス→さくら公園

日も長くなり公園では、親子が遊んでいた。西中の部活帰りの生徒とすれ違い、声をかけると元気に「こんにちは！」とあいさつを返してくれた。

6月11日（火）3班
コース：交流センター→宮古駅前→末広町商店街→山清酒店→カラオケ店→大通商店街→宮古駅前

交流センターには多数の高校生が、定期考査前の学習に取り組んでいた。駅前是人通りも少なく中高生の姿はなかった。カラオケ店で話を聞くと高校生は午前授業だったらしくお昼過ぎからたくさん的高校生が来店していたとのこと。交流センターに戻ると1時間前より生徒の姿が減っていた。



宮古市少年センター 5・6月の街頭補導状況

	実施日数		従事者数		指導数	
	5月	6月	5月	6月	5月	6月
午前	0日	0日	0人	0人	0人	0人
午後	0日	1日	0人	4人	0人	0人
夜間	8日	7日	32人	29人	0人	0人
合計	8日	8日	32人	33人	0人	0人